

# ウオロク労働組合

## 新聞

12月号

2023.12.08

第2号

### 繁忙月も安全に

安全衛生委員会の12月度のテーマは「年末繁忙期の事故防止」です。おもな要点は、お客様の店内事故や従業員の労災事故防止対策の検討と実施、また短期アルバイトに対する安全衛生教育の実施、そして長時間労働防止策として、年末年始の効率的な作業計画の立案・確認となっています。冬場は特に転倒事故や切創事故が多発しやすく、日々の業務に加え、年末年始の準備など忙しい時期になり、労働災害が増加する時期であるので、慌ただしい中であっても慎重な仕事を心がけ、周りの人とも安全について声を掛け合い、みんなが安全に働けるよう、職場ぐるみで安全な作業に取り組んでいただくようお願いいたします。

### 冬季の通勤に注意！

職場内だけではなく、通勤・仕事帰りの帰宅時の安全も重要です。降雪や路面の凍結による事故が増える時期です。道路渋滞で焦り、事故に繋がる可能性もあるので、余裕を持った出勤でもって、事故防止に繋がしましょう。徒歩で通勤される方はマンホールや側溝での滑り転倒事故にご注意ください。

### 通勤困難時には？

昨年発令された「大雪等の通勤が困難な場合の補助について」という制度の活用も、事故発生リスク低減と防止につながります。

大雪等で通常の通勤が困難となり、業務に支障が出る恐れがある時、安全に出勤するための手段として、高速道路や宿泊施設を利用した時に、利用料金の補助がでる制度となっています。補助を受ける際は事前に店長（所属長）の許可を受けることが前提ですが、遠方から通勤されている方は大雪が予測される時、必要時には所属長と相談し、安全確保・リスク低減が確保された、安全な通勤に繋がしましょう。



職場・通勤時の災害や事故防止で困っている点はありませんか？あれば、職場の安全衛生委員会に支部長を通じて伝えましょうか、労働組合事務所に相談してください！

## 活動報告

### 第2回レディースセミナー開催！

11月24日（金）万代シルバーホテルにて第2回レディースセミナー（新潟会場）を開催しました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

第1回（長岡会場）と同様、セミナーは第一部・第二部で開催し、終了後は仲間との交流を目的に懇親会を開催しました。第一部は㈱プライムサポートのファイナンシャルプランナー 大久保麻梨様からご自身

が経験した地震のお話から、地震のメカニズム・万一の際の備えなど分かりやすくご説明いただきました。いつ起きるか分からない災害に備え、携帯電話が使えなくなった時に備え、家族や大切な人との集会所を決めておく、災害発生時に必要な、優先順位の高い準備しておくもの、などを学びました。

第二部は健康経営エキスパートアドバイザーの田中咲百合様から「そんな不調にはこんな対策！結局聞くのはこれだ！」と題してストレッチや食事の効率的な疲労回復方法について、手軽な運動も交えながら講演いただきました。参加者の皆さんと一緒にストレッチを行い、笑い声もあふれる楽しく素晴らしい講義で会場内は盛り上がりました。

セミナー後には懇親会を開催し、他支部の方と交流し、新しい仲間をつくる有意義な懇親会となりました。

参加者からは「あつという間に終わった感じで先生のトークもためになり楽しかった」「自分を見つけて直す内容が盛りだくさんで他の人にも参加を勧めたい」などの感想をいただき、主催の土屋美穂教育宣伝部長も「田中先生のお話を、ぜひ普段の生活に役立てていただきたい。また久しぶりに長岡と新潟の二会場でのセミナー・懇親会の開催ができたことは非常に喜ばしく、今後も組合員の生活向上につながるような研修会を開催していきたい。」とコメントがあった。

次回の開催時にも多くの方の参加をお待ちしております。



# 活動報告つづき 労使協議の取組み

## 第2回 労使協議会開催！

1月27日(月) 第二回労使協議会を開催しました。執行部23名(うちリモート出席8名)、会社側からは高橋副社長・杉田人事部部长・斉藤人事部次長3名の出席で開催しました。

12月も間近、繁忙時期を控え、これまでの実績を振り返り、反省を生かしながら、働く環境向上や事故防止と健康維持を優先に、しっかりと予算を達成しながら生産性の高い業績を上げることを労使で確認・共有をしました。

また、組合員の協力のもとおこなった労働環境実態調査を分析・活用しての要望(人出不足・急な欠員に対応する、連続休暇・有給休暇をより取得し易くする、育児や介護休暇取得の向上に資する)として、応援体制仕組みの構築の要望を行いました。

### 協議事項

一. 2023年10月度の業績および生産性確認

二. 2023年10月度のインターバル規制違反の発生

件数と前年対比および原因を確認

三. 2023年10月度の長時間労働の対象者と前年対

比、および原因を確認

四. 繁忙期の勤務体制について(お盆の振り返りを踏ま

え、上越店好調の状況を踏まえ、生鮮デリカセンタ

ーの課題や年末年始の勤務計画を踏まえて)

五. 労働環境実態調査(正社員)より、組合からの改善

要望・提案

### 協議内容

一. 業績及び生産性確認

業績について会社側は、当初の予定よりも大変よい業績で組合員の頑張りに感謝している。生産性についても向上しているとし、さらに効率的なMHの使い方を労使共に模索していきたい。とコメントがあった。

これに対して組合側は、『当初の目標であった生産性に安定的に到達した。組合員の頑張りど、会社方針の集結であると考え。さらなる生産性向上は、会社を成長させて、賃金向上(物価上昇を上回る)のために重要で、労使共通の物差しとして、生産性目標達成は使命であると考えている。会社コメントにあった「客数が微減し、客単価、一品単価増で数値向上している、9月頃から、買い控えなのか、消費動向に少し変化を感じている」については客数減が課題であると共通認識として持っている。その原因が何であるかを分析し、改善手をうつ必要がある。ともに知恵を出し、さらに業績向上の為、ともに頑張る』とコメントした。

二. インターバル違反状況

2023年10月違反人数…2件(2022年10月度…2件)

原因…シフトミスによる違反1件と店舗開店で売り場維持対応で1件

三. 長時間労働の対象者と原因

2023年10月度残業時間45時間以上超過人数21名(60時間超2名)(2022年10月度残業時間45時間以上超過人数6名(60時間超0名))

会社側は、上越店の開店に伴う残業時間の増加

と、生鮮デリカセンターでの長時間労働も無くな

っていない。応援や採用による労働力確保にも努

めており、改善ははきているとあった。

これに対して組合側は、「改装や新規開店」に

よる発生も改善していると認識できるが、検証を

して今後活かす、そしてデリカセンターの課題

とともに、応援体制の構築も会社の取組みも進ん

できているが、さらに良い仕組みの構築と、発生

してしまった該当者へのサポートや心身のケアは必

要で、協力し取り組みたい、とコメントした。

四. 繁忙期の勤務体制について

会社側からは、お盆同様にインターバルは厳守して

いく。生鮮デリカセンターからの供給は昨年と比べ

増加するが、本社応援も大幅に増員しすることで繁忙期に対応していく。と説明があった。

五. 労働環境実態調査から連休取得状況向上への改善提案

現状の応援の方法の中では、必要な時に充足できるかなどの課題があると考え。安心して連続休暇・育休などの長期休暇を取得しやすい環境になるよう、具体的には応援やフォローを専門とした組織構築などの環境整備の要望を行った。会社側からは検討を行うと回答があった。

次回は1月22日(月)

に労使協議会開催します。

《青年婦人部よりお知らせ》

行動規制が緩和された久々の年末となります。

各支部で忘年会などが開催されることかと思われ

ます。開催された際にはお早めに支部活動手当の

申請をお願いします。

支部活動手当とは、普段お話しする機会のない従業員

同士が交流を深め、楽しくイキイキとした職場環境

となる場を提供すること目的に、各支部のレクリエ

ーションの参加を支援するために行っているもので

す。

各支部の企画であれば何でも構いません。組合員一

人あたり年一回2,000円を支給します。ただし

各支部で年4回の上限がございますので、部門ごと

の開催にならない様にご注意ください。

